

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)					区分						
会計区分	款	項	目	所管							
3 橋りょう耐震補強及び落橋防止対策事業(橋りょう維持事業)				新規	拡大	継続					
事業の位置付け											
しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名								
総合振興計画新実施計画	事業コード	4207	事業名	橋りょう耐震補強及び落橋防止対策事業							
根拠法令等	道路橋示方書										
予算要求事業の概要											
内容	埼玉県緊急輸送道路上に架かる橋りょう及び重要路線や鉄道を跨ぐ跨道橋・跨線橋について、重点的、計画的に橋脚の耐震補強や桁の落橋防止対策を実施することにより、震災時の救助、救援活動や物資輸送のための道路ネットワークを確保します。										
目的・目標	<目的> 橋梁の耐震補強は、兵庫県南部地震等での橋梁の被災実態を踏まえ、昭和55年道路橋示方書より古い基準を適用して建設された橋梁について、国と県市が連携を図り重点的に対策を実施しています。本市としても、震災時の道路ネットワークを確保するため埼玉県と整合を図りながら、早期完成を目指しています。 <目標(平成25年度末)> 1 耐震補強実施橋梁数 34橋										
現状と課題	<現状(平成21年度末見込み)> 1 耐震補強実施橋梁数 25橋 <課題> 既設橋梁を耐震補強するため、施工性が悪く、補修費用が増大します。また、橋の桁下の管理者(鉄道事業者や河川管理者など)との施行に向けた協議や調整に期間を要します。										
今後のスケジュール	緊急輸送道路に架かる橋梁の耐震補強工事を順次優先度を踏まえ実施し、大規模震災における緊急物資の輸送や救助活動のための道路ネットワークを確保します。										

2 予算要求の内容と査定結果

(単位:千円)

区分	金額	備考
平成21年度	当初予算	222,000 <積算内訳> 1 橋りょう耐震補強及び落橋防止対策事業 222,000 [主な内容] (1)設計業務委託 (2)砂本郷跨線道路橋耐震補強工事施行委託 (3)新大道橋耐震補強工事
	財源内訳	国庫支出金 44,000 市債 131,400 一般財源 46,600
平成22年度	当初予算要求	453,750 <積算内訳> 1 橋りょう耐震補強及び落橋防止対策事業 453,750 [主な内容] (1)上戸井橋耐震補強工事に伴う家屋事前事後調査業務 (2)上戸井橋耐震補強工事に伴う賃借料 (3)新大道橋耐震補強工事 (4)北原陸橋耐震補強工事 (5)上戸井橋(下り)耐震補強工事 (6)上戸井橋耐震補強工事に伴う家屋事後補償
	財源内訳	国庫支出金 97,500 市債 311,800 一般財源 44,450 <要因理由> 緊急輸送道路に架かる橋りょうで、第一次特定、第一次に指定された路線にある橋梁のうち、国道122号に架かる上戸井橋(下り)及び北原陸橋、第二産業道路に架かる新大道橋の3橋の耐震補強工事を実施するために必要な経費を要求するものです。
財政局長査定	453,750	<査定内容> 1 橋りょう耐震補強及び落橋防止対策事業 453,750
	財源内訳	国庫支出金 97,500 市債 311,800 一般財源 44,450 <査定理由> 内容及び積算を確認し、適正であると認められるため要求の通りとしました。
市長査定	453,750	<査定内容> 同上
	財源内訳	国庫支出金 97,500 市債 311,800 一般財源 44,450 <査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。